

秋田県内在住の産業カウンセラーの皆さん、こんにちは！ ようやく「回覧板」第1号を発行することができました。今後は年4回ほど定期的に発行していきたいと考えています。

第1号には学習グループ「秋田ふれあいこまち会」創設時の会員、岩谷一さんから投稿をいただきました。今後は、①主な活動報告、②ご案内、③リレー投稿を3本柱にして皆様に情報提供していきます。(30年度編集委員小西・保坂・内藤)

リレー投稿①『思うこと』(回想・不安・経験・愛情など)

「継続は力なり」となりえるか

秋田ふれあいこまち会 岩谷一

1984年あきたこまち米誕生、1997年秋田新幹線こまち号開業に遅れること5年、2002年「秋田ふれあいこまち会」発足、2018年、現在に至る。

秋田県内の産業カウンセラーを中心とする「カウンセリング」の学習をしたい人たちが集まって作られた。創世記は6人ほどのメンバーで構成され、それぞれがテーマを持ちより学習することとカウンセリング技術の向上のための集まりだった。少人数のため会場には、お菓子やコーヒーなどが用意され「お茶会」の要素もあった。会費は飲み物代程度だった。

その後、組織化するにあたって、名称をどうするのかの話が出て、「こまち」が秋田を代表する名前がいい、「こまち」だけだと何をやっているのか分からない、「ふれあい」という言葉が気持ちを表しているなどの意見が出て、「秋田ふれあいこまち会」を名乗ることになった。10名に満たない小さな学習会であったが、熱いあつまりであった。

学習会を名乗っていても、飲み会やナベッコ(その後ワインカウンセリングに発展)なども企画し、サークル活動の要素も多々あった。

月1回の定例会は、土曜日の午前中、秋田市茨島のコミセンの1室であった。学習会の大きな枠組みは、9時半からINFO・会員の近況報告、10時から学習・啓発活動(講師は会員)、11時から面接実習(傾聴のトレーニング、3人一組の実技演習)で

2004年度の毎月の参加者を見ると記録の中では4名から9名の間であった。

ちなみに04年(平成16年)の学習計画は4月総会、5月全国大会、6月交流分析、7月創造性開発教育訓練、8月発達心理学Ⅰ、9月THP、10月ライフキャリア(セカンドキャリア)、11月コーチングスキル、12月来談者中心療法、1月発達心理学Ⅱ、2月キャリア開発、3月事業計画となっていた。

2006年度(平成18年度)の計画 4月総会、5月高齢者対策、6月発達心理学(小学校低学年)、7月未定、8月構成的エンカウンター、9月未定、10月ナベッコ、11月逐語録、12月実技(模試)、1月キャリアコンサルタント、2月未定、3月次年度計画となっていた。

05年4月の例会では、「ふれあいこまち会をどう進めるか、方向性について」、06年2月の例会では、「ふれあいこまち会は、学習会として運営していくのか」などが提起されていた。これは、その後もずっと議論となっていくものであったし、今も続く課題であった。

今回は創世記から06年当時までの状況を中心に書きました。とりあえず手元にあった資料をもとに私見で書いたものでありますので、正確性に欠けますが関係者の皆様にはご容赦下さい。(以上)

ご案内

- ◆ 6/23(土) 東北支部総会
会員の皆さん参加してみましょう!

県内学習グループ 平成 30 年度総会が開催されました！

会員学習グループ「秋田ふれあいこまち会」（中央・県南）及び「きりたんぼ会」の平成 30 年度総会が 4 月 21 日にそれぞれ開催されました。

秋田ふれあいこまち会では、平成 30 年度の活動目標を「活動を通して会員同士の交流を深める」とし、①学習会その他の機会を活用して会員同士の交流を深めていく、②多くの会員が参画できるような開催日・内容を検討する、③事例検討・面接実習の機会を確保することを 3 本柱としました。

続いて行われた定例学習会は、寺田誠さんが「産業カウンセラーって何？ 秋田ふれあいこまち会って何？ 皆さんと一緒に考えましょう」と題して、ワークショップを開催、会員同士の交流を図るとともに、産業カウンセラーの 3 つの活動領域などについて学習しました。

きりたんぼ会では会長の選出が行われ、阿部哲也さんが新会長に選ばれました。また、今年度の会の運営の仕方について話し合いました。



ワークショップの一場面



無料相談会担当者会議開催される！

4 月 21 日（土）10 時から市民サービスセンター「センタース」において、30 年度秋田県自殺対策事業「心の健康づくり無料相談会」のスタッフ打ち合わせ会が 11 名の参加を得て開催されました。

相談会担当の県運営部の寺田さん、県運営部長からの諸連絡、諸注意などがあったあと、参加スタッフの自己紹介や疑問、意見の発表が行なわれ、活発な意見交換が行われました。

- ① 相談会開催日に予約が入っていない日がある。非常に残念。もったいない！
- ② 現行、さきがけ新聞の情報コーナー、秋田市、横手市の広報誌への掲載、公共施設へのチラシの常備、など行っているが、今年度は、チラシの街頭配布、他の情報媒体の利用なども検討してみてもどうか。などの意見が出されました。今後の活動の参考にしていくことを確認しました。

最後に、寺田さんから東北支部のプライマリー研修、登録カウンセラー研修などの受講により、スキルアップに努めて、より内容のある相談会事業としていきたいとのあいさつがありました。

ボランティア精神で 30 年度も無料相談会を通じて多くの方に寄り添っていきましょう！！